

# 「エンディングノート」を通じた 将来設計・ライフプランの 専門家養成へ

(一社) エンディングノートプランナー養成協会

超高齢社会の進展に伴い、単身世帯の高齢者が増える中、「エンディングノート」の活用を通じた高齢者の将来設計・ライフプランをサポートする専門家「エンディングノートプランナー」の養成講座が12月11日開講する。(一社) 遺品整理士認定協会理事長の木村榮治氏が理事長を務める(一社) エンディングノートプランナー養成協会が運営するもので、遺品整理業務などへ参入し、地域の高齢者と接する機会が増えた一般廃棄物処理業者などの受講も想定している。

エンディングノートは、家族や親戚関係、病歴などの情報、葬儀や墓地、財産などの死後に必要な情報、終末期や死亡後の希望



養成講座の教材

などを記入し、遺族への引継ぎを行えるようにするツールで、ここ数年、需要が高まっている。講座では、地域で高齢者の生涯教育などに携わる人や、高齢者から相談を受ける機会のある職業の人などを対象に通信教育を行い、課題レポートによって合否を判定、合格者には認定書を発行する。

合格者は「エンディングノートプランナー」の有資格者として、関係機関などと連携しながら高齢者への生活支援や将来設計のサポートにあたることができる。

受講料は2万5000円、会費5000円(2年間有効)。詳細は、同協会ホームページ(<http://ending-p.org/>) 参照。